

# 市民の皆さまとともに

## めざすは「健幸立市日本一！」

下呂市長 服部 秀洋



市民の皆さま、明けましておめでとうございます。

平和の祭典である東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される夢と希望に満ちた素晴らしい1年が幕を開けました。

下呂市では昨年度、選手村ビルディング建設のための木材を供出しました。下呂市産のヒノキが世界中の選手に憩いややすらぎを与え、その素晴らしさを知っていただける絶好の機会であると期待しています。これをチャンスと捉え、地勢の92%を占める豊富な森林資源を生かし、林業の活性化を強く推進してまいります。

農業面では、「馬瀬ひかり」が昨年末のコメの食味分析鑑定コンクール国際大会で見事最高金賞を受賞され、高齢化や後継者不足で苦勞してみえる農業関係者の皆さま、下呂市にとっても明るい活路につながるものとなりました。こうした市内にある地域資源のブランド化をさらに押し進め、森林や農地を核とした新たな仕組みづくりを進めてまいりたいと考えています。

4年目となる「健康」をキー

ワードとした政策の取り組みにおいて、当市が官民一丸となつて推進してきた減塩活動が全国的にも認められ、昨年の11月に「第8回健康寿命をのばそう！アワード」で栄えある厚生労働大臣最優秀賞を受賞することができました。介護を支えてくださる人材が不足する中、健康寿命の延伸は、多世代同居による在宅介護にもつながると考えています。新たな支援策を講じ、世代を超えて健康で生きがいを持って暮らせるまち、「健幸立市日本一」をめざしてまいります。

また近年の度重なる大災害に対する備えに万全を期するとともに、主軸となる観光、産業の発展、医療、教育面においても最も重要なインフラ整備を近隣市町村と緊密に連携を取りながら着実に進め「安心して住めるまち、訪れていただけるまち」をめざしてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

令和二年が市民の皆さまにとりまして、夢の膨らむ喜びに満ちた良い年になりますよう、心からお祈り申し上げ年頭の挨拶といたします。



# 令和二年 市民の皆さんとともに 活気ある年に

下呂市議会議長 各務 吉則

明けましておめでとうござい  
ます。市議会を代表しまして一  
言ご挨拶を申し上げます。

希望に満ちた輝かしい令和二  
年の新春を皆さまご健勝でお迎  
えのことと、心からお慶び申し  
上げます。日頃より本市の市政  
運営並びに議会活動に対し、皆  
さまの温かいご支援、ご協力を  
賜り厚くお礼申し上げます。

まずは、今年の台風15号並び  
に19号で各地に甚大な被害が発  
生し被災されました皆さまに心  
よりお見舞い申し上げますと  
もに、被災地の一刻も早い復旧、  
復興をお祈り申し上げます。

昨年、下呂市内では、幸いな  
も大きな災害はありませんでし  
たが、災害はいつ起きてもおか  
しくはありません。日頃から災  
害に対する十分な備えを行い  
「いざ」というとき落ち着いて  
行動できるよう、それぞれの立  
場から「自助」「共助」「公助」  
の役割と連携による減災活動に  
努める必要があります。

さて、国内の社会情勢に目を  
向けますと少子高齢化や人口減  
少社会の到来、景気回復の実感  
がないなど多くの課題はありま  
すが、今年では東京五輪の開催な  
ど明るい話題もあります。これ

により外国人旅行者の増加が見  
込まれ、市内でも観光旅行者に  
よる経済効果も期待されてお  
り、下呂市としてホスピタリ  
ティの気持ちを込めて歓迎する  
ところです。

市議会においては、これまで  
住民代表・自治体の意思決定機  
関として、さまざまな角度から  
議会改革を行ってきましたが、  
議会、議員の果たすべき役割と  
責任は、ますます大きくなって  
います。こうしたことから、よ  
り市民の意見を市政に反映でき  
る身近で開かれた議会となるよ  
う議会改革をさらに進めるた  
め、議会、議員のあるべき姿を  
形にした議会基本条例の制定に  
向け取り組んでいます。

本年も議員一人一人が研鑽に  
努め、資質の向上を図ることは  
もとより、市議会が市民の皆さ  
まに寄り添いながら、下呂市の  
発展と安心して心豊かに暮らせ  
る社会の実現を目指してまいり  
ますので、さらなるご支援、ご  
協力を賜りますようお願い申し  
上げます。

結びにあたり、新年が皆さま  
にとって素晴らしい一年となり  
ますことを心からご祈念申し上  
げ、新年のご挨拶いたします。